

## 第5回安中市行政改革審議会行政改革大綱策定検討部会会議録【概要】

(以下、敬称略)

- 【日 時】 平成26年10月20日(月)午後14時～15時30分  
【場 所】 市役所202会議室  
【出席部会員】 5名(小竹、千葉、武井、田島、松井)  
【欠席部会員】 1名(茂木)  
【事務局】 4名(総務部長、企画課長、行革情報統計係長、担当職員1名)  
【配付資料】

### 会議次第

- 1 第2次安中市行政改革大綱(たたき台④) ※事前に郵送
- 2 たたき台④の追加修正 12項
- 3 第3回、第4回行政改革大綱策定検討部会会議録

### 【詳細】

- 1 開会 《企画課長》
- 2 挨拶 《小竹部会長》  
【部会長より挨拶】

### 3 協議事項

#### 第2次行政改革大綱について 《司会：小竹部会長》

##### <説明>事務局

- ・ 5項 【図表-8】、【図表-9】、【図表-10】の3つの図表を統合して【図表-8】とした。それにもない図表の通し番号を繰り上げた。
- ・ 7項 “本大綱が検討された平成26年で入手できる最新データである”を追加。
- ・ 9項 “市民”と“住民”が混在していたので修正。
- ・ 9項 マンパワーが必要な理由を追加。
- ・ 10項 表現をより分かりやすく修正。
- ・ 12項 前文を追加。資料を机上配付。
- ・ 13項 「3 効率的で弾力的で機動性のある組織の整備」について文章を追加。
- ・ 14項、15項 「4 健全な財政運営」について小項目を廃止し文章化。
- ・ 16項 大綱の計画期間についてご議論いただきたい。
- ・ 16項 実施計画に部会がどこまで関与するのかご議論いただきたい。
- ・ 16項 実施状況の公表についてご議論いただきたい。

- ・ 大綱全体の言い回しや表現の統一性を最終的に事務局で確認する予定。

#### <審議>

- 「行政改革大綱（たたき台④）について検討を始める。

#### 9項「3 行政改革の必要性」

- 4つめのパラグラフの文章が長い。短く区切ったほうがよい。
- 再検討する。
- “住民エゴ”という表現がきつように思える。
- 受け取る側の市民がきつく感じるような表現は避けたい。
- 行政ではなく部会が主導で大綱を策定したという主旨の文章を入れればよいか。
- 例えば前橋市の行財政改革推進計画では策定時の委員名簿を載せている。
- 委員の名簿を載せるか、部会主導で策定したというような文章を載せるか検討する。

#### 13項「3 効率的で弾力的で機動性のある組織の整備」

- 前文がないので追加する。
- “スクラップ・アンド・ビルド”を用語解説に追加する。
- 計画通りに動いているのかチェックする機能についての記述が必要。
- 「（1）進捗管理とPDCA」という項目を新設し、全体的に内容を見直す。

#### 16項「Ⅲ 推進方法」

##### 「1 計画期間」

- たたき台では計画期間を平成27年度から平成31年度までの5年間としているがこれでよいか。
- 総合計画の計画期間は平成25年度から平成29年度となっているが、総合計画と行政改革大綱の計画期間を合わせる必要はないのか。
  - 県内他市の状況を見ると計画期間は5年間が多い。また、総合計画と期間を合わせているわけではない。
- 期限がないといつまで経っても着手しないということになりかねない。計画期間は5年とする。

##### 「2 実施計画の策定」

- 実施計画の策定は庁内に任せるか、部会も関与するか。
- 部会主導で大綱を策定したわけなので、その実施計画についても内容、進捗状況を確認すべき。
- いずれかのタイミングで部会を開催し、実施計画の内容について報告を受けることにする。

### 「3 実施状況の公表」

- 計画の実施状況は公表するか。
- 部会員には今回の議論を反映したたたき台を事務局から送付するので内容の確認をお願いしたい。

#### 4 その他

- ・ 事務局の想定する今後の流れは以下のとおり。
  - ① 今回の部会の議論を踏まえ修正した大綱を部会員に郵送し、内容を確認してもらう。
  - ② 確認した大綱をもとに庁内で大綱の実施計画を策定する。
  - ③ 実施計画について部会に報告する。
  - ④ 大綱の最終案を部会から行革審に報告する。
- ・ ③の部会への報告は年明けになる予定だが、日程が決定したら部会員へ連絡する。

#### 5 閉会